

# 平成 27 年度 つむぎ高梁

## 【事業報告書】

【事業所責任者：佐分利 真夕】

### (1) 基本方針と運営実績

平成 27 年 5 月より事業開始。きめ細やかな支援の提供により、利用児の姿に変化が見られることで、保護者の方をはじめ、関係機関の方からも高評価をいただいている。特に保育所等訪問支援や移行ケース会議に好感触な幼・保育園や学校が増えており、法人が目指す「適切な支援でつむぐよこのいと、支援が途切れることなくつむぐたてのいと」の基盤ができてきていることを実感している。

また、運営実績に関しては、夏頃より契約者数が増え、目標件数も常に達成、また上回った。上記の結果と実感している。

### (2) 事業所運営方針と実績

#### ① 「利用者の幸せの追求」について

- ・新設当初に各園・学校、健康づくり課等の関係機関を訪問し、つむぎ高梁の運営方針や利用の流れについて広報を行った。28 年度はホームページを設置し広報活動を実施していく。
- ・アセスメント体制の整備として太田ステージ検査、ヴァインランドⅡ、心の理論等様々なアセスメント方法について整備を行った。28 年度も継続していきたい。
- ・太田ステージを基礎にした療育を行い、職員も根拠のある支援方法を身に付けることが出来た。28 年度は太田ステージのより深めた支援スキルを継続して身に付けていきたい。

#### ② 「組織の安定と発展の追求」について

- ・初年度ということもあり、支援体制は状況に応じて、臨機応変に変化させてきた。28 年度新体制で取り組んでいくが、スタッフ間の連携を図りながら、柔軟に対応していきたい。
- ・意見苦情要望に関しては、相談機関との連携・シートの活用を積極的に活用することで、保護者のニーズを拾い上げ、療育に反映させることができた。28 年度も継続していきたい。
- ・定期的な研修はケースカンファレンスやハッピーサークル主催の勉強会が中心。28 年度は処遇改善加算の関係もあり、計画的に必要な研修を実施していきたい。

#### ③ 「つどう人の幸せの追求」について

- ・スクラム会議・土曜日の親子活動・ペアレントトレーニング・学習会&座談会・保育所等訪問支援などを行い家庭や所属機関を巻き込んだ支援を実施した。今後も育児や支援に携わる人達のニーズを満たせるように事業を展開したい。
- ・自立支援協議会に加入して活動した。社会福祉協議会と吉備国際大学のボランティア登録を行い募集した。現在 6 名の登録がある。今後も、様々な社会資源を知り協働できる体制づくりを行いたい。
- ・親の会ハッピーサークルを発足した。今後、組織体制を整える後方支援を行いたい。新設当初、職員 6 名からスタートして、現在は 11 名となった。職員親睦会を 2 回、職員保護者親睦会を 1 回開催した。次年度も複数回開催したい。

### (3) 年間行事（児発・放デイ・日中一時）

#### ① ご利用者向け

行 事	計 画	実績と内容
保護者向け学習会・座談会	8月より毎月実施	ハッピーサークル主催による学習会・座談会を開催。外部から色々な分野の講師を招き、講話していただく。
保護者との親睦会	3月実施	保護者の要望もあり、年度末に開催。

#### ② 職 員

行 事	計 画	実績と内容
ケースカンファレンス	随時	通所計画作成時をベースにCの状況把握、目標設定の共通理解を図る
虐待防止研修	年1回	理事長より、虐待防止に関する講習会を実施
保護者向け学習会・座談会	8月より毎月実施	ハッピーサークル主催による学習会・座談会に職員も参加。

# 平成 27 年度 たかはし地域生活支援センター

## 【事業報告書】

【事業所責任者：佐分利 尚孝】

### (1) 基本方針と運営実績

平成 27 年度より、たかはし地域生活支援センターを開設し、高梁市では初めての、障害種別やライフステージの垣根を超えた相談支援を実施していくことで、高梁市に新しい支援の風を吹き込むことができた実感している。平成 28 年度より基本相談の委託を受けることができたことは、大いに評価したいことと考えている。

### (2) 事業所運営方針と運営実績

#### ① 利用者の幸せの追求

相談支援を通して、就労や在宅支援の課題を強く実感した一年であった。成人期の支援についても、ケースを通しての学びを大切にしていた。地域移行、地域定着支援については相談が寄せられてこなかったため経験できていない。次年度は是非実績をつくっていきたい。

#### ② 組織の安定と発展の追求

相談支援の流れや様式の整備は完了。次年度は自己点検などで支援の在り方をチェックしていき、必要なものを整備していきたい。

#### ③ つどう人の幸せの追求

平成 29 年度より、障害児者における相談の窓口が市の直営となり、一元化される。高梁市との連携を強化していくためにも、必要とされている資源については、積極的に協力していきたい。